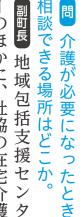
介護の相談はどこ

地域包括支援センターなど





相談先である。 支援センター及びコミュニテ ィーソーシャルワー - のほかに、社協の在宅介護 地域包括支援センタ カー

支援の例をあげよ。

ェを通じ当事者同士のつなが ト等がある。 家族のリフレッシュのサポー 員による病院等へのつなぎ、 ったときの家族相談、 副町長「認知症かな?」と思 への案内等もある。 また認知症カフ 担当職

できるだけあわてないよう準 ったり、多様なケースがある。 も介護保険が使える場合があ る方も多い。例えば「がん」 へしっかりとつなげてもら することが大切である。 準備ができていないと慌 介護が必要になったとき 認知症以外で悩み、

談を受けている。や、本町に住んで 談された方の希望に沿い をしている。 援センター 相談窓口ですど (役場2F) 頃 でいる方の相 より高 地域包括支 対応 へ相



ている。 せではなく、本人も勉強する れないこと等もある。家族任 られるように本町も準備され できるだけ希望どおりに迎え ことは重要である。日常はと の本人 誰にも最期 ヘルプを本人が受け入 へが読む本」もある。 資料の一つに「認知 地域の方々等が がある。 自分

症

ても忙しく大変だが、

集め であ る。 る、 町も同じ考えか。 勉強することは重

中に、 も提供している。 の時の話し合い」という講座 ったら」「人生会議、 出前講座を行っている。 ーに委託し、 えての対応はとても重要であ 情報提供していく。 南部在宅医療介護支援センタ 本町でも、 「もし介護が必要に もしも 各地区におい 南部医師会の もしも その な 7

こん な質問もしま た

包括的性教育を推 進して

南風原町公式 L Ν Ε

用のようのわからを促進してほしい のわかりやすい 利

こどものSOSをうけとめ

不登校は問題行動 る場所はどこか の見解は